

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	青葉区有料運動公園施設
2	指定管理者	公益財団法人仙台市公園緑地協会
3	指定期間	平成29年4月1日から平成34年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 174,055人 (前年度比 106%) 平成26年度 166,380人 平成27年度 161,686人 平成28年度 164,409人
		《事業》
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 29,082千円 (36,924千円) ()は前年度決算額 ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
		《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 ① アンケートの実施状況と結果 受付窓口にアンケート用紙と投書箱を設置し年間アンケートを実施していた。(アンケート集計結果は別紙の通り) ② その他の手法(利用者懇談会等)による評価の実施状況と結果 利用者からの意見や要望等の聞き取りを随時行い、指定管理者単独で対応できることには迅速に対応して利用者サービスの向上に努めた。それ以外の、単独では対応できない事項については仙台市に報告し、今後の対応について協議した。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の目的を十分に理解し、運営に反映させている。	S
II 施設の運営管理体制	施設運営において適切な人員配置などを行っており、事故防止や個人情報保護の体制構築を行っている。事故・災害発生時の連絡先リストの更新と掲示位置の見直しが必要である。	A
III 施設・設備の維持管理	内外の施設等について、管理を十分に行っている。	S
IV サービスの質の向上	サービスの向上について、職員のスキルアップや研修会の開催及び参加等の取り組みが適正に行われている。アンケート回収枚数も昨年度より大幅に改善しており、利用者の声を施設運営に活かしている。	S
V 施設固有の基準	公園の適正管理と市民協働について、十分な取り組みを行っている。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台市公園緑地協会）による自己評価》
<p>管理運営においては、無人公園の定期巡回を週2回実施し、施設の不具合等の早期発見により、公園内を快適な状態に保つことができた。また、「普通救命講習」「消防訓練」等を実施し、職員の危機管理能力及び安全面における対応力の向上を図るとともに、青葉区・太白区・宮城野区運動施設公園、パークゴルフ場のチーフ、協会本部担当者をメンバーとしたリーダー連絡会議を定期的に開催して、施設に寄せられた苦情や要望等の情報を共有化し、それぞれの施設の管理運営に役立てることができた。</p> <p>施設・設備の維持管理業務においては、運動施設公園敷地内の除草を業者委託との併用とし、野球場外野の芝生地等は乗用草刈機で職員自ら作業することによりきめ細やかな対応を行い、ベンチの塗装による劣化防止、施設内にフラワーボックスを設置し美観の維持、快適性の向上に努めた。</p> <p>また、施設に対する意見・要望を把握するため、利用者と一緒にコミュニケーションを取ることで、意見や要望を伝えやすい環境を整え、それらを施設の管理運営に反映させることができた。利用者からの要望を受け評定河原公園の外野部分の土補充等、快適性の向上が図られたと考えている。</p> <p>その他、「NPOホテルの会」の要望により除草範囲の制限を行い青葉山公園の生物多様性に貢献し、利用者への情報提供として熱中症指数を掲示し安全管理の強化を図り、さらに、自主事業として評定河原公園で少年少女野球教室を開催し、施設の利用促進、PRに努めた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設全体に目が行き届いた充実した管理を行っている。施設の補修や修繕については区公園課と連携をし適切に対応している。今年度は、七十七銀行硬式野球部と共に野球教室を開催し、地域と施設利用者に対して快適な利用環境を提供し、利用者からの評価も高い。昨年度に比べ、窓口で実施した利用者アンケートの回答数を大幅に改善し、利用者からの多様な要望への対応をしており、利用環境の向上に努めている。また、「NPOホテルの会」の要望により除草範囲の制限を行い青葉山公園の生物多様性に貢献するなど、地域の公園利用に資する取り組みを行っている。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：建設局百年の杜推進部公園課